





直腸切除術を受けられる方へ

月日(日時)	/		/	
経過(病日等)	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に必要な準備を理解することができ、安全に手術を受けられるようにしましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> 安静を守り、痛みや苦痛があるときは、看護師に知らせましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ歩く練習をしましょう。痛みが強いときは看護師に知らせましょう。
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります。 			
薬	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服している薬を確認します。 内服薬の継続については、医師又は看護師から説明します。 14時に液体の下剤を内服します。排泄状況によっては追加の下剤内服が必要になることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な内服薬について医師又は看護師から説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて検査が入ることがあります。 			<ul style="list-style-type: none"> 血液・尿検査とレントゲンがあります。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防のためにお臍の掃除と必要な範囲の除毛をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術の呼び出しがありましたら、手術着に着替えて、弾性ストッキングをはきます。 パンツは着用できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室でお腹に管(ドレーン)、肛門に減圧チューブが入ってきます。場合により、鼻からの管(胃管)も入ってきます。 背中からは痛み止めの管(硬膜外麻酔を施行した方のみ)が入ってきます。 酸素吸入を翌日朝まで行ないます。 血栓予防のため足にフットポンプ(ふくらはぎのマッサージ器)が付きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部のチェックをします。 鼻の管(胃管)を抜く予定ですが、状態をみて判断します。 フットポンプは朝の着替えの時にはずします。
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静になります。 寝返りはできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行可能となりますが、最初の歩行時は必ず看護師が付き添いますのでナースコールでお知らせください。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事療法をされている方、アレルギーのある方はお知らせください。 昼食は流動食、夕食は欠食となります。それ以降は禁食ですが、22時までは自由に水やお茶を飲むことができます。22時以降は少量のみの水分摂取となります(水、お茶、OS-1などのクリアウォーターのみ)。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝7時以降すべて禁飲食です。 2番目以降の手術の方のみ、手術予定の2時間前まで少量の飲水はできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲水(水とお茶のみ)とアメ玉のみ可能となります。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 点滴が始まる前にシャワー浴ができます。手術のために身体をきれいにしましょう。 爪もきれいに切りましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 入浴やシャワー浴はできません。 朝の洗顔は可能ですが、クリームなどはつけないようにしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 入浴やシャワー浴はできません。 夜、顔を拭くためのタオルをお持ちします。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。パジャマへの着替えをお手伝いします。
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 朝までの排便状況を確認します。 朝までに排便がない場合は浣腸をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は尿の管が入っています。また、排便はベッド上となります。 	
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活について説明します。 手首にリストバンドをつけます。 手術に必要な物品を確認します。 医師から手術について説明があります。 手術に関する同意書を確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室へ出発するときには、時計、眼鏡、義歯、湿布、指輪、ヘアピン、かつら、補聴器等を外してください。 リストバンドがついているか確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室でご家族に手術についてお話しします。手術室から呼び出しがありましたら看護師がお知らせしますので、それまでは病棟のラウンジで待機してください。 	

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。






直腸切除術を受けられる方へ

月日(日時)	/	/	/	/
経過(病日等)	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ歩ける範囲を広げましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ歩ける範囲を広げましょう。 無理のない範囲で食事を慣らしていきましょう。 	
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります。 			<ul style="list-style-type: none"> 食事摂取が十分量あれば、点滴はありません。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 手術前に内服していたお薬が必要なものは再開する予定ですが、医師又は看護師から説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 創の痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師又は看護師に相談してください。 お腹が張る症状が続く場合は、緩下剤や漢方薬をお出ししますので、症状が続く場合は、我慢せず、医師又は看護師に相談してください。 		
検査		<ul style="list-style-type: none"> 血液検査とレントゲンがあります。 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部のチェックをします。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部のチェックをします。 手術後3日で背中痛み止めの管を抜く予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部のチェックをします。 手術後4～6日で肛門の管を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部のチェックをします。 手術後5～7日でお腹の管を抜く予定です。
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> 飲水(水とお茶のみ)とアメ玉のみ可能となります。 	<ul style="list-style-type: none"> シャーベット、汁物(具なし)は摂取可能になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 流動食が開始になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 五分粥食が開始になります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体調に合わせて適宜、体を温かいタオルで拭きます。 洗髪を希望される時は、お手伝いします。 お腹の管が抜けるまでは、シャワー浴はできません。 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 背中痛み止めの管がなければ尿の管を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 背中痛み止めの管が抜けたら、尿の管を抜きます。抜いた後は蓄尿袋に尿をためていただきます。看護師が説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示があるまで、引き続き尿をためてください。 	
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強いときは看護師にお知らせください。 		<ul style="list-style-type: none"> 痛みが強いときは看護師にお知らせください。 食事摂取が開始になります。無理はせずゆっくりと時間をかけて食べましょう。 	

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。

直腸切除術を受けられる方へ

月日（日時）	/	/	/	/ ~
経過（病日等）	手術後6日目	手術後7日目	手術後8日目	手術後10日目前後で退院
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 歩行リハビリを続けましょう。少しずつ歩ける範囲を広げましょう。 無理のない範囲で食事を慣らしていきましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> 退院に向けた歩行リハビリを続けましょう。 退院に向けて不安なことは医師又は看護師に相談しましょう。
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 食事摂取が分量あれば、点滴はありません。 			
薬	<ul style="list-style-type: none"> 創部の痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師又は看護師に相談してください。 			
検査		<ul style="list-style-type: none"> 血液検査とレントゲンがあります。 		
処置	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部のチェックをします。 手術後5～7日でお腹の管を抜く予定です。 		<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部の確認をします 	
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 			
				
食事	<ul style="list-style-type: none"> 全粥食が開始となる予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> よく噛んでゆっくり食べましょう。 		
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体調に合わせて適宜、体を温かいタオルで拭きます。 洗髪を希望される時は、お手伝いします。 お腹の管が抜けるまでは、シャワー浴はできません。 		<ul style="list-style-type: none"> お腹の管が抜ければ、シャワー浴が可能になります。 	
排泄	<ul style="list-style-type: none"> お腹が張る症状が続く場合は、緩下剤や漢方薬をお出ししますので、症状が続く場合は、我慢せず、医師又は看護師に相談してください。 			
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 術後の食事について栄養士より栄養指導があります。日程は前後する可能性があります。 			<ul style="list-style-type: none"> 主治医より今回の治療の経過や退院後のことについて説明があります。
				<ul style="list-style-type: none"> 別紙にて次回外来日について説明します。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。